

令和4年度第1回徳島県女性審判講習会報告書

日時：2022年5月1日

場所：松茂総合体育館

参加者：4名

○内容

1 自己紹介

…今回は未ライセンスの方や大学生等の方が参加してくださりました。少人数での開催だったので、序盤からアットホームな雰囲気で講習会が始まりました。



2 選手権大会女子決勝見学

…石井中学校 vs 藍住東中学校 (CC:若山 U1:古川 U2:久樹 IR:山下) それぞれ決勝を見学していただき、気になるケースなどを記録してもらいました。

3 映像検証

…試合の映像を見ながら、プレーの捉え方やゲームの進め方など、参加者からの質問を中心に話を進めていきました。



Q1.ファウルの判定について

ファウルの3原則(接触、責任、影響)を確認しました。良い判定につなげるためのポジションアジャストの重要性や、マージナルについての話になり、内容が広がりました。



Q2.トラベリングについて

“明らかなトラベリング”についてはショットに行くかどうかに関わらず判定をしていく必要があることを確認しました。ゼロステップの捉え方やトラベリングになる条件も合わせて確認しました。トラベリングやファウルなど、判定の基準を1Qの早めの段階で示し、1試合を通して同じ基準で判定する必要があることも話しました。

Q3.どのレフリーがどのプレーを見るのか

試合の中でトリプルコールがあり、それについて2PO、3PO両方のプライマリーエリアとプライマリーアングルの確認をしました。良い判定につなげるためには、メカの理解とクルーの協力が necessary になることを話しました。



Q4.選手とのコミュニケーションについて

試合中、レフリーが選手に話しかける場面がありました。何を話しかけていたのかという質問が出ました。選手やベンチとのコミュニケーションの取り方はゲームコントロールをする上でも必要な技術であることを話し合いました。

Q5.時計の管理について

最後にタイマーやショットクロック、マジックタイムの使い方など、時計の管理について確認しました。リスタート時に時計を確認すること、トレイルレフリーのプライマリーではあるが、クルーとして協力して把握しておくこと、適切な時間に戻すことなど、映像にはっきりと残るものなので、ミスがないように丁寧に確認する必要があると話し合いました。

○最後に…

少人数ではありましたが、その分温かく全員が話しやすい雰囲気です。講習会を進めることができました。一つの質問から多くの項目を再確認できたり、話し合えたりできて大変有意義な時間でした。不慣れな進行にも温かく対応してくださり感謝しています。

今年度の女性審判講習会第一回を U15 の試合を対象に開催するにあたり、たくさんの方の支えがあったこと、合わせて感謝申し上げます。

この第一回をスタートに、審判に興味をもち、次回新たな女性審判員の方と出会いができることを楽しみにしています。年齢やライセンスを問わず、誰もが参加しやすい講習会ですので、お気軽にご参加ください。(問い合わせは各カテゴリー担当まで)

